

私と「幼児の教育」誌との出会いは、十七年前にさかのぼります。

当時、お茶の水女子大学附属幼稚園内に児童学科津守研究室があり、その中に、当該編集部の机がありました。楽しみに企画について話していらした、当時の編集者の方を思い出します。

幼稚園教諭時代、「幼児の教育」誌は、日々の保育の指針となってくれる力強い存在でした。

我子を持ち、地域にもどったこの四年は、年に一度ずつ母親としての歴史を書かせていただき、流れていく毎日を意識的に暮らす励みになっておりました。

このたび、編集をさせていただくことになり、複製版を手にしてみました。

倉橋惣三先生をはじめ、保育界の重鎮の方々の文章にふれ、この、歴史ある雑誌を編集する責任と喜びを感じています。

子どもの数が少なくなっていること、各方面への影響は？ あちらこちらに、

子どものための施設や、イベントは豊富だが、はたして家庭の、地域の、日々の子育て能力は？ 世の中、きれいになりすぎて、子どもに必要なもので不潔視していないか？ 等の問題に取り組み、各方面の方々に、特に毎日、子ども達と過ごしていらっしゃる方々に寄稿して頂きたいと考えております。

四月号は、教育課程審議会委員でいらっしゃる河野重男先生に、巻頭言を書いていただきました。

「子どもと」の清水光子先生、「南の島の子どもたち」の浅野恵美子先生、「臨床の現場から子育てを考える」の鮑田典子先生には、長年の御経験から思うことを連載していただけることになりました。

「幼児の教育」誌が、皆様の保育、育児、研究のよき仲間でありませう様、努力してゆきます。又、ご意見をお聴かせいただければ幸いです。よろしくお願いたします。

(Y)

幼児の教育 第八十七巻 第四号

四月号

定価 四〇〇円

昭和六十三年 三月二十五日 印刷

昭和六十三年 四月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 本 田 和 子
発行人

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします

※万一製造不良の点がございましたら、おとりかえいたします。